



令和4年度第1回医療政策研修会  
第1回地域医療構想アドバイザー会議

資料

令和4年9月15日

7

# 自治医科大学における 地域医療教育カリキュラムについて



小谷 和彦

自治医科大学 地域医療学センター 地域医療学部門

# 自治医科大学医学科の特徴

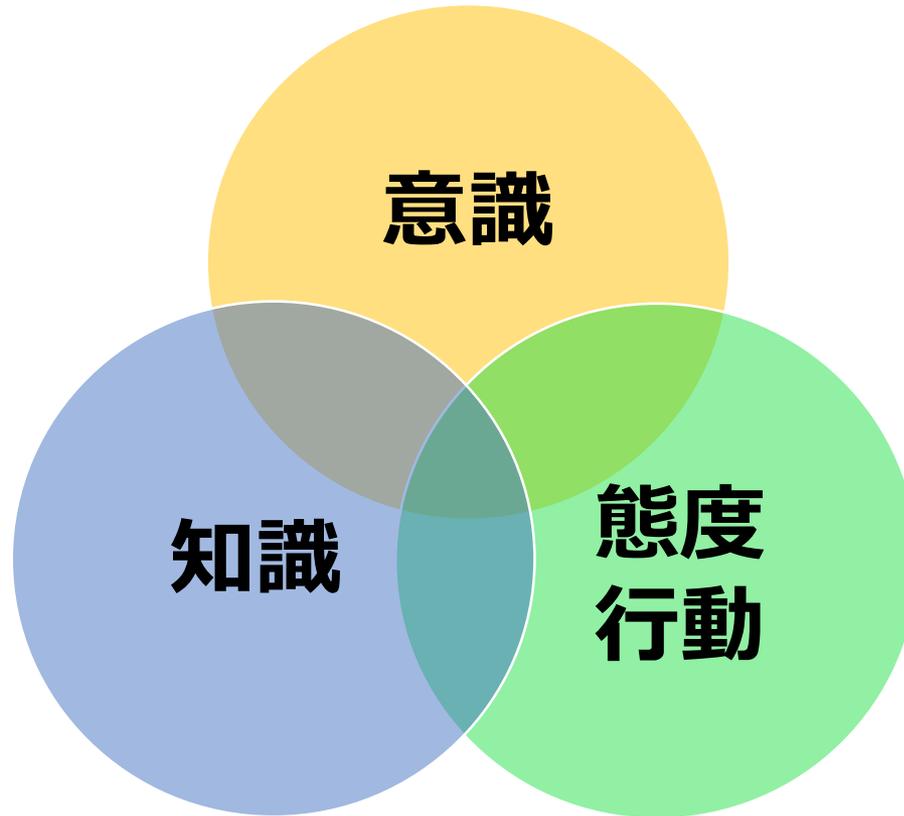
(一般的な説明)

- へき地等の地域医療を担う医師（総合医）の育成
- 都道府県の共同による設立
- 各都道府県からの入学（毎年2～3名）
- 修学資金の貸与
- 全寮制
- 卒業後の地域医療への従事義務（9年間；出身都道府県）

(参照；自治医科大学HP等)

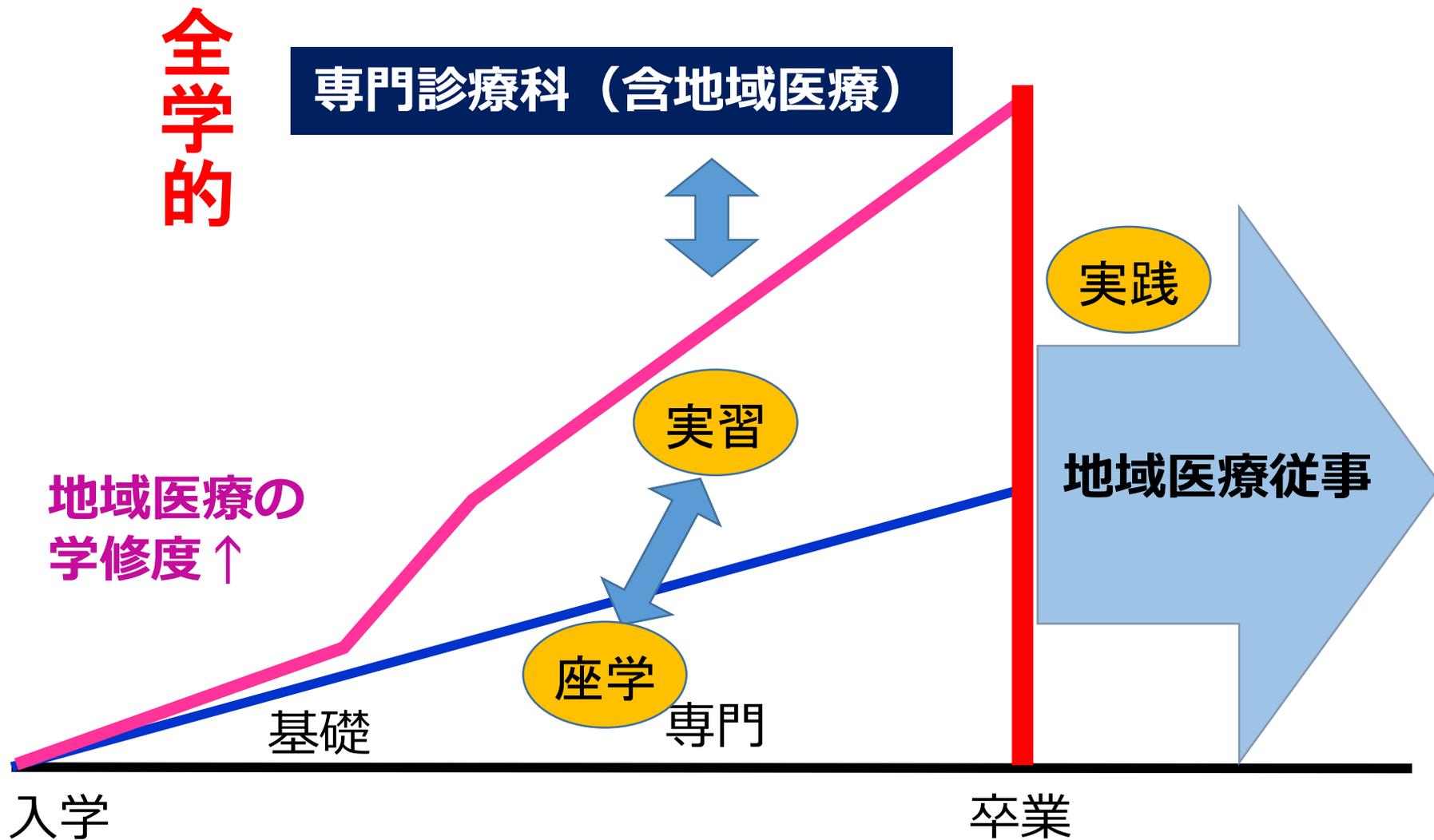
# 地域医療

目的の明確さ



package

# 自治医科大学での学修イメージ





都道府県人会

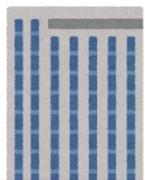
大先輩



大学

同期

近い先輩



都道府  
県庁

沖縄

同期



北海道

学生寮



仲間、ロールモデル、キャリアパス、成長、本人なりのカスタマイズ

後輩



出身都道府県

大学

6年生

5年生

4年生

3年生

2年生

1年生

夏季（期）研修  
（実習、セミナー）\*  
春季、冬季等もあり

キャリアプログラム・  
パスの説明の機会

← 早期体験実習

（アーリーエクスポージャー）

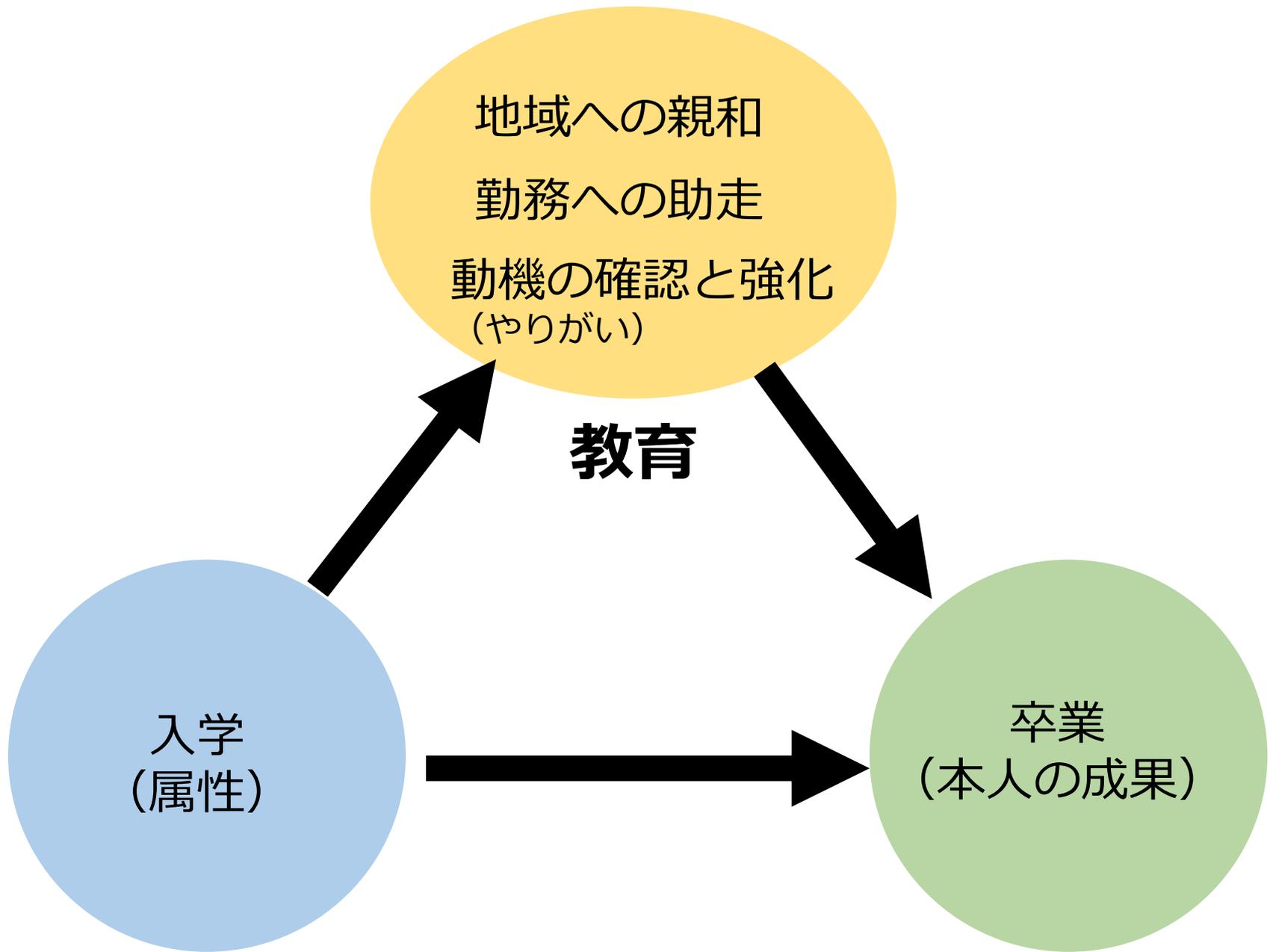
都道府県担当部署と  
大学との協議の機会  
（2回/年、随時）

卒後に係る委員会

学習者支援  
（補講）

チュートリアル

\* 地域枠学生との合同多し



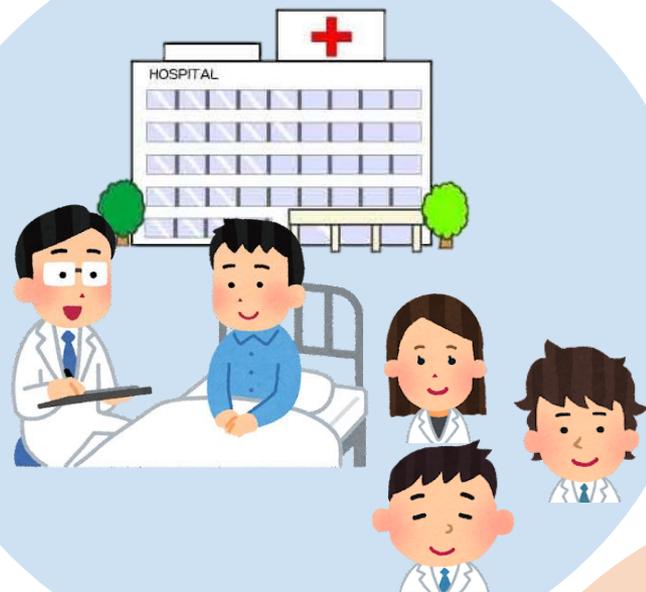
# 主たる地域医療学関連教育

「講義↔実習、振返り」を組み合わせ、6年を通して波状積上げ式に実施

|                             | 1年 | 2年      | 3年 | 4年      | 5年 | 6年      |
|-----------------------------|----|---------|----|---------|----|---------|
| 地域医療学 総論（概論）                | ○  | ○<br>福祉 |    |         |    |         |
| 地域医療学 各論（専門）                |    | ○       | ○  | ○       | ○  | ○       |
| 概論 <b>アクティブラーニング</b>        | ○  |         |    |         |    |         |
| <b>早期体験実習</b><br>（シミュレーション） | ○  |         |    |         |    |         |
| 地域 <b>福祉</b> 実習（学外）         |    | ○       |    |         |    |         |
| <b>多職種連携</b> 実習             |    |         |    | ○       |    | ○       |
| 地域 <b>医療臨床</b> 実習（学外）       |    |         |    | ○<br>選択 | ○  | ○<br>選択 |
| 都道府県 <b>拠点病院</b> 実習         |    |         |    |         |    | ○       |

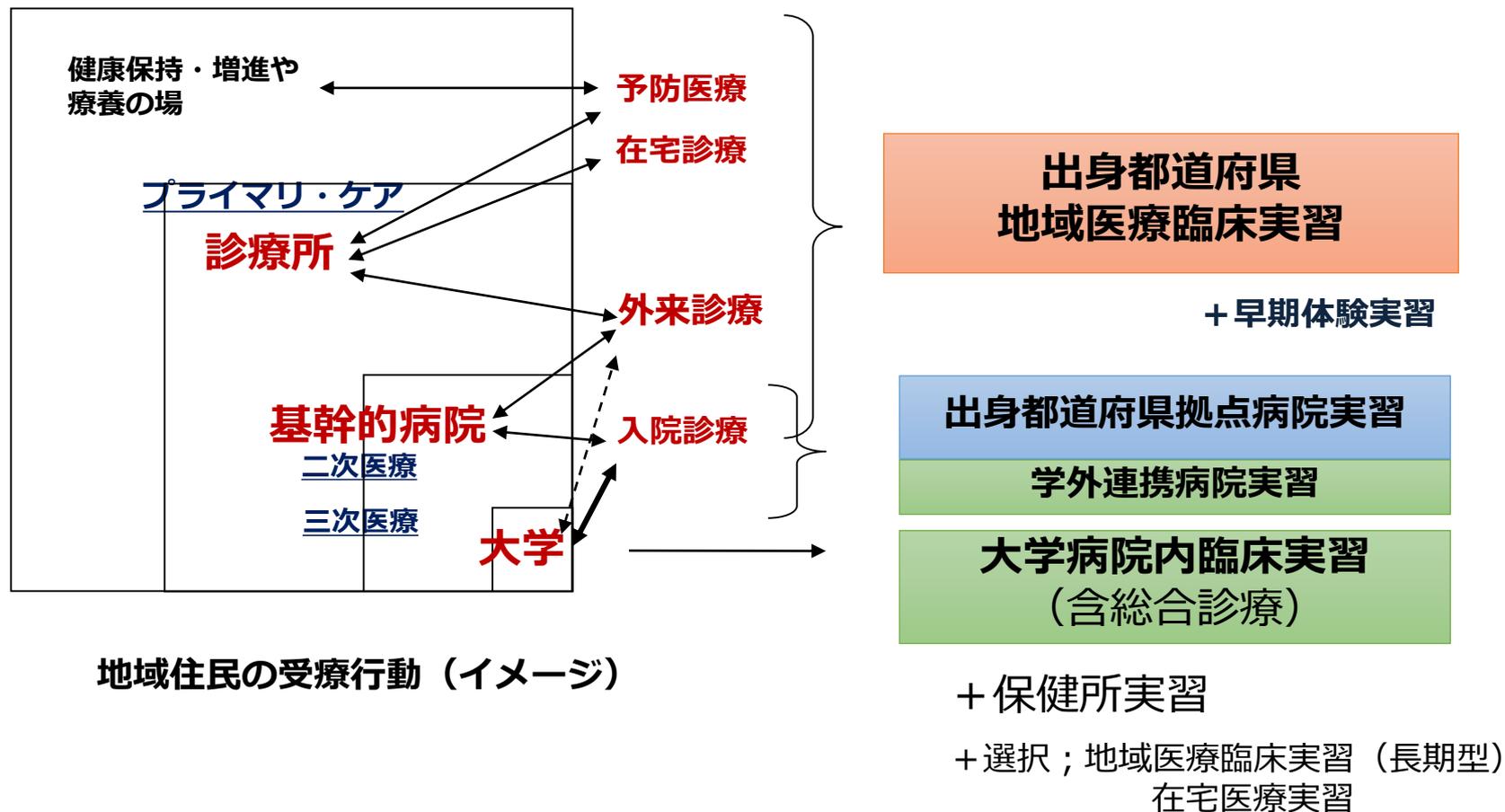
（参照；自治医科大学教育要項）

# 総合診療実習



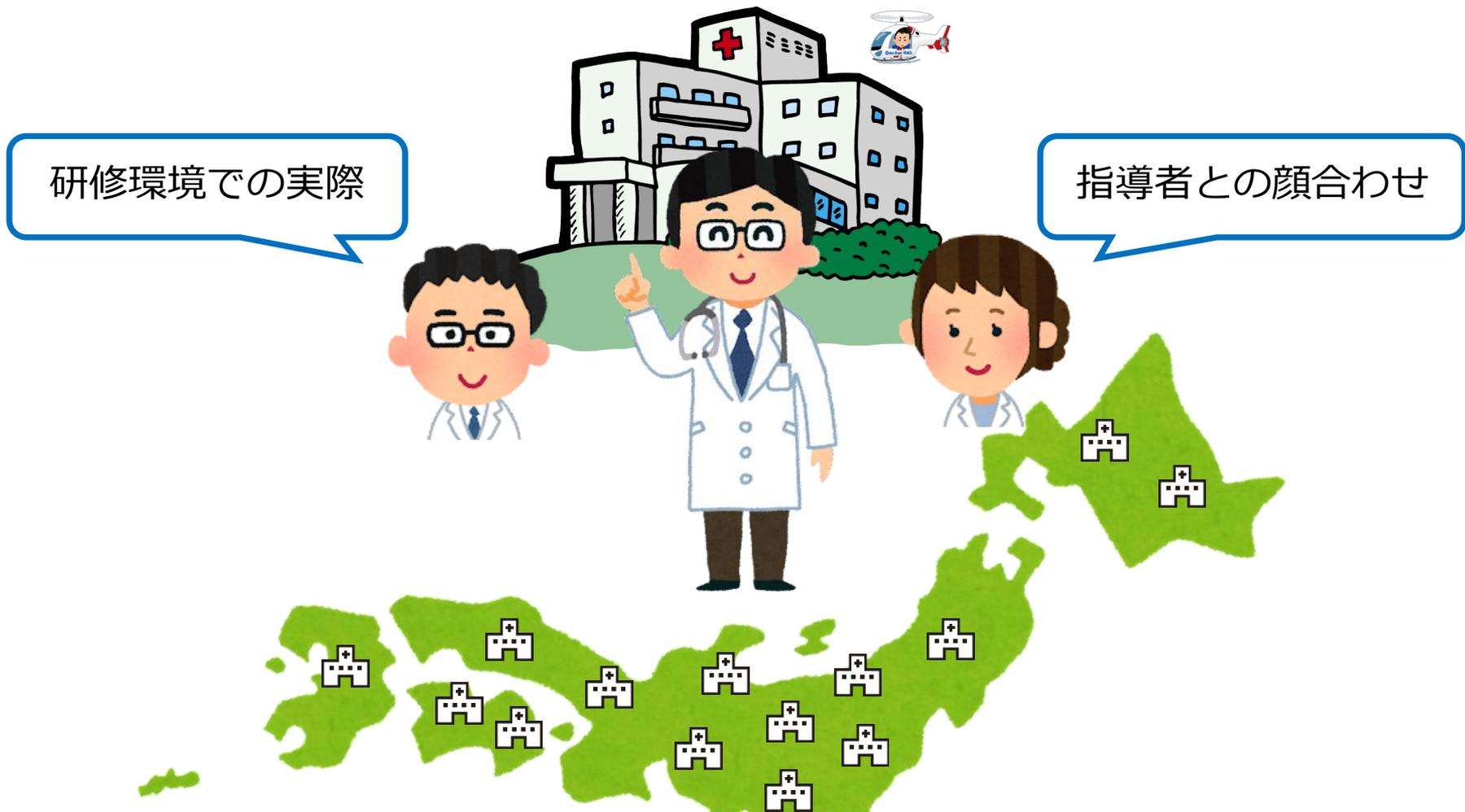
# 保健所実習

# 自治医科大学での地域医療関連実習の見取り図



全ての医療機能の設定で十分な時間を充てて実習する。

# 都道府県拠点病院実習 6年次（必修4週間）



出身都道府県における初期臨床研修を受ける規模の施設での実施



卒前後のシームレス化

# 地域医療臨床実習 (地域実習)

# 5年次 (必修2週間)

在宅



外来～入院



保健・福祉・  
介護系、行政



出身都道府県におけるへき地施設や中小規模施設での実施

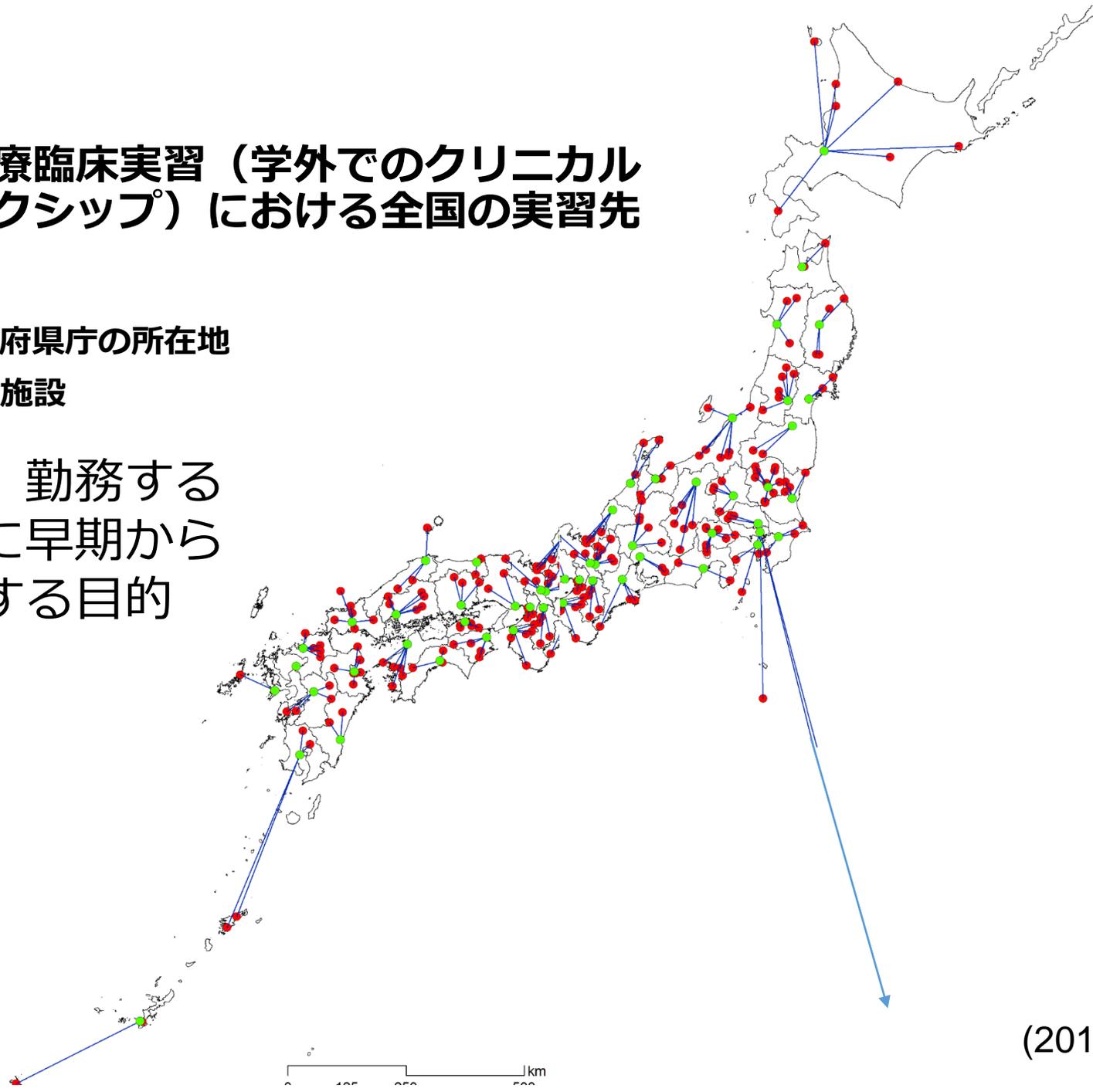


学内の教員のサイトビジット

# 地域医療臨床実習（学外でのクリニカル クラークシップ）における全国の実習先

- 都道府県庁の所在地
- 実習施設

将来、勤務する  
地域に早期から  
参加する目的



(2019年度)

# 地域実習-標準プログラム

推奨する標準プログラムとして、基本となる「外来と入院の総合的な診療」に加えて、以下の学修事項の経験を重視して含める：

- ① 地域包括ケア
- ② 予防医療
- ③ 在宅医療
- ④ 介護・福祉系サービス
- ⑤ 地域診断（社会医学的視点）
- ⑥ 多職種連携とチーム医療  
地域の文化に接する機会（文化人類学的視点）

# 地域実習の例-標準プログラムに基づいて現場で 創意工夫して決められた日程

## 1 週目 診療所

|    | 月              | 火    | 水     | 木      | 金    |
|----|----------------|------|-------|--------|------|
| 午前 | 外来             | 介護施設 | 行政機関  | 福祉センター | 外来   |
| 午後 | 地域包括ケ<br>アセンター | 訪問診療 | 住民懇談会 | 予防接種   | 健康教室 |

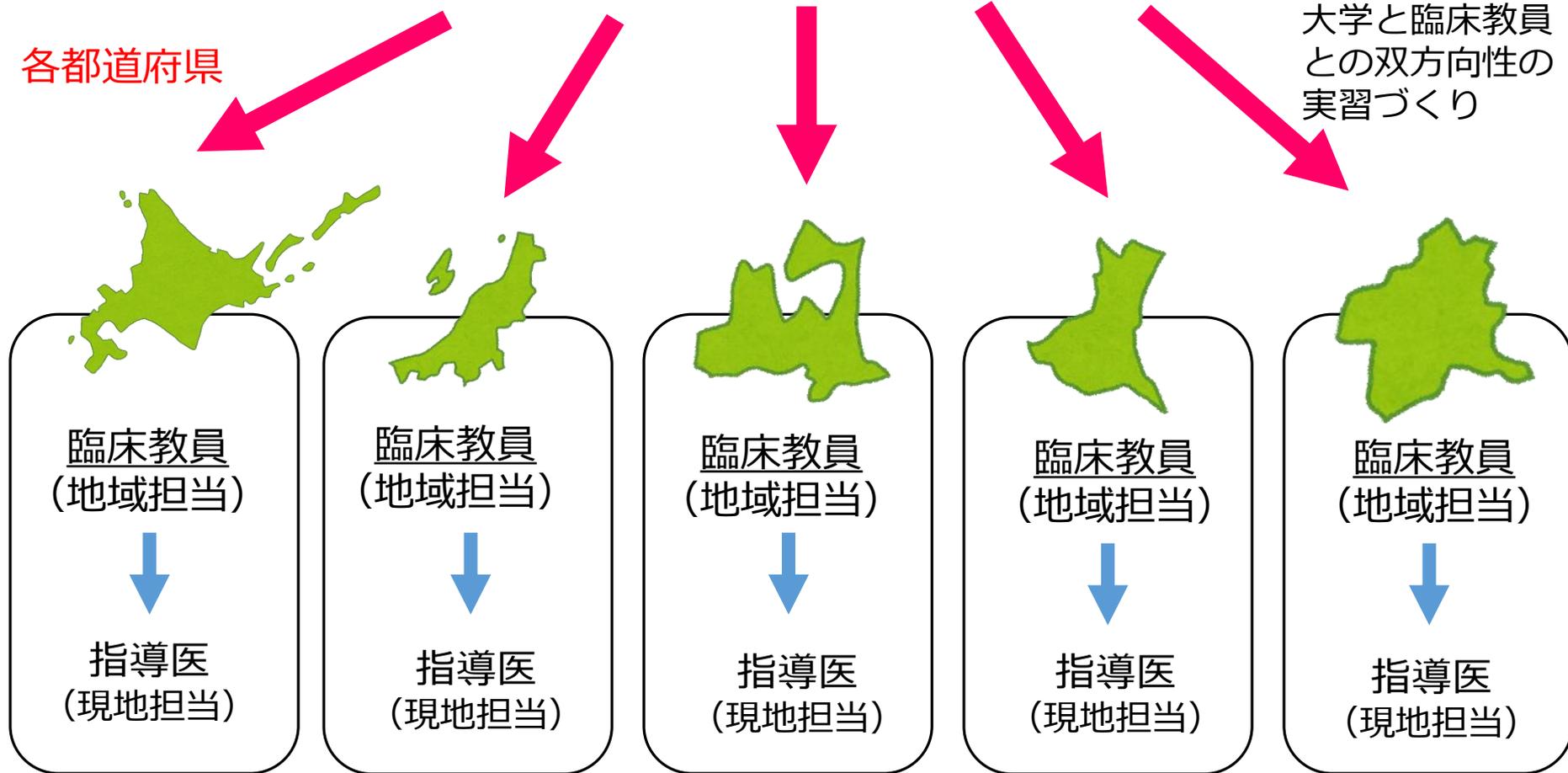
## 2 週目 中規模病院

|    | 月  | 火  | 水    | 木    | 金    |
|----|----|----|------|------|------|
| 午前 | 外来 | 救急 | 検査   | 外来   | カンファ |
| 午後 | 検査 | 病棟 | リハビリ | 訪問診療 | 病棟   |

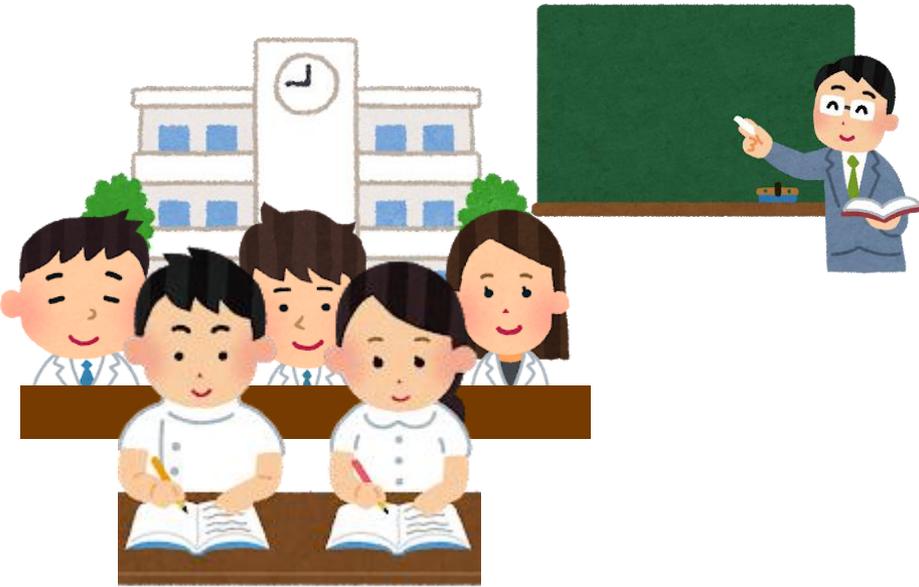
# 大学 + 全国臨床教員研修会 (FD)

各都道府県

大学と臨床教員  
との双方向性の  
実習づくり



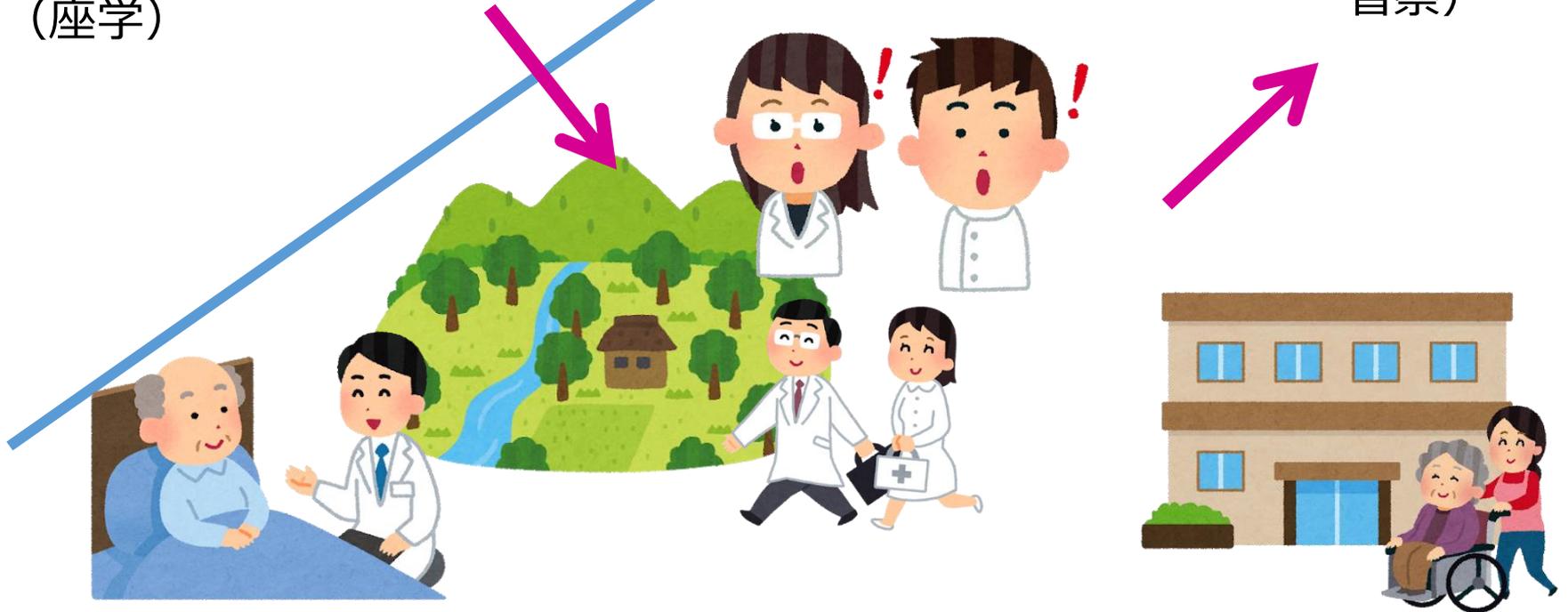
# 地域医療臨床実習の流れ



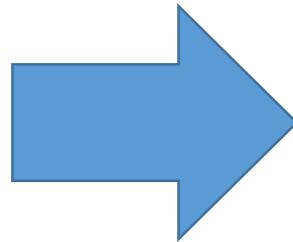
実習の事前講義  
(座学)

現地実習

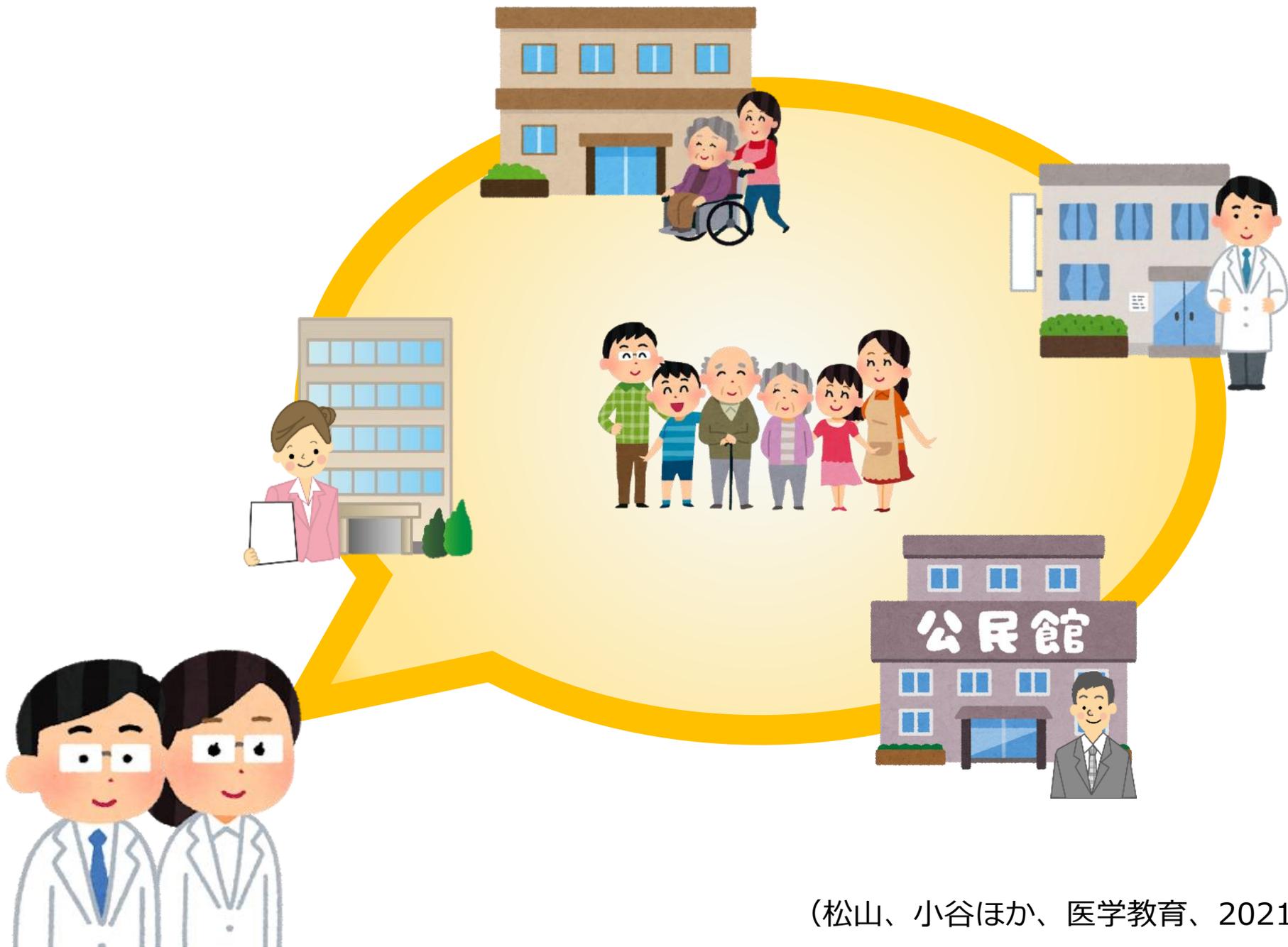
全体報告会  
(全国的情報共有、  
省察)



# 地域医療臨床実習で得られること ; 学生のレポートから

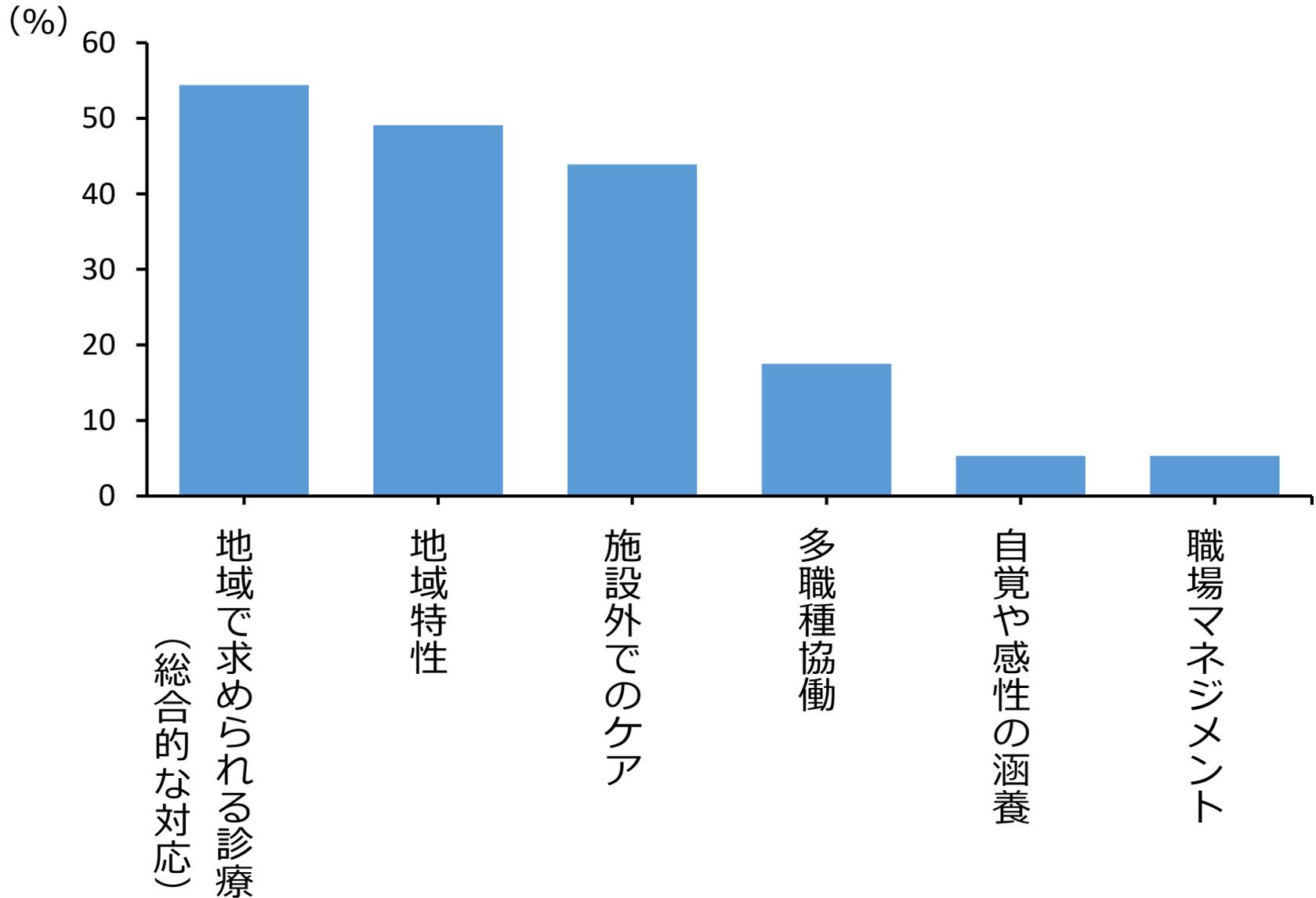


地元、地域



(松山、小谷ほか、医学教育、2021)

# メディア授業で完全には代替できない学修項目



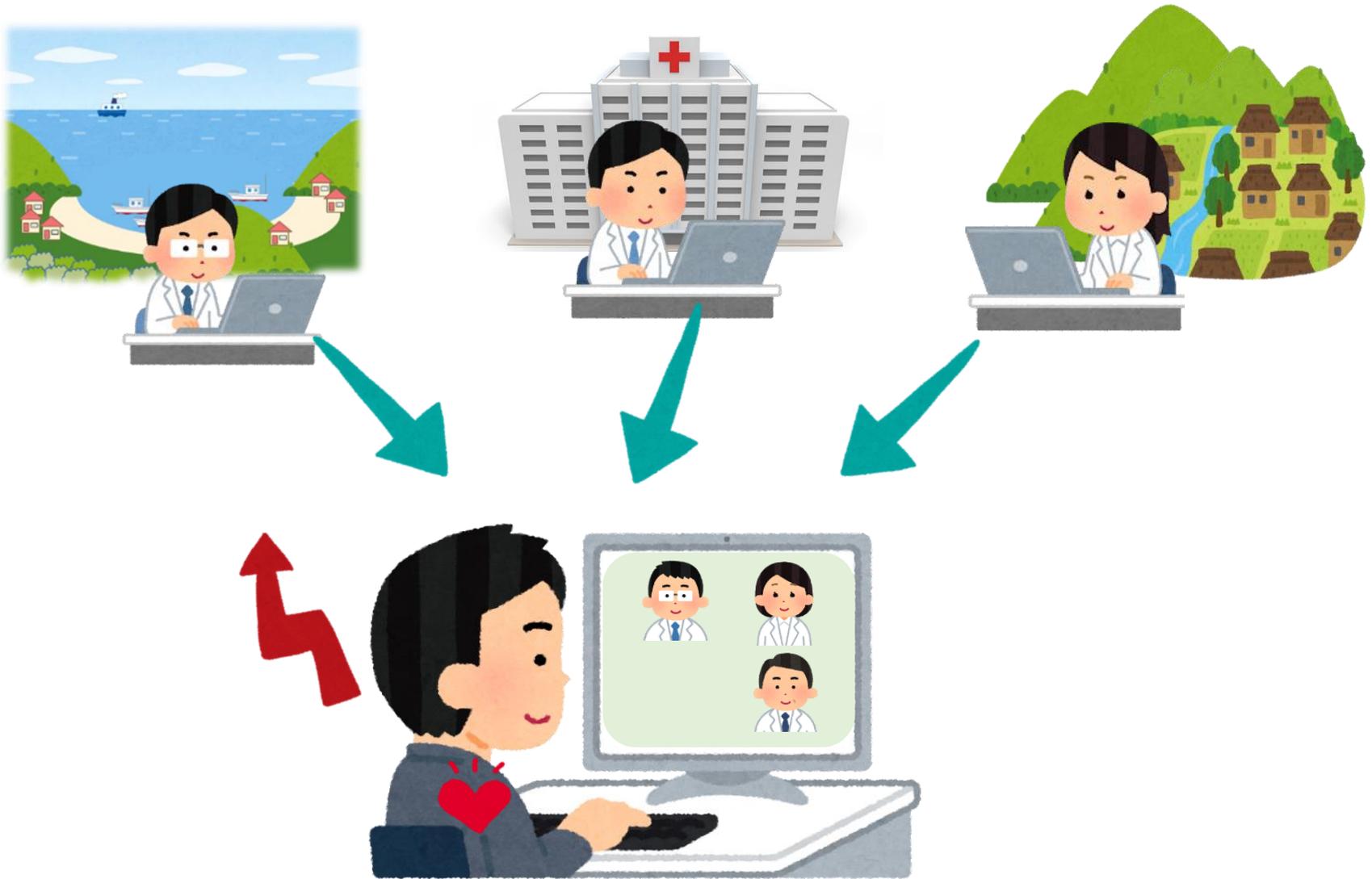
(小谷、松村、COVID-19時代の地域医療学教育、日医、2020)

# メディア教材の例



(小谷、ハイブリッド学修、日本医学教育学会、2021)

# メディア教材の例：オンライン学修



(小谷、ハイブリッド学修、日本医学教育学会、2021)

# 地域医療臨床実習の流れ



準備学修や多面重層学修の位置づけ  
(メディア授業)

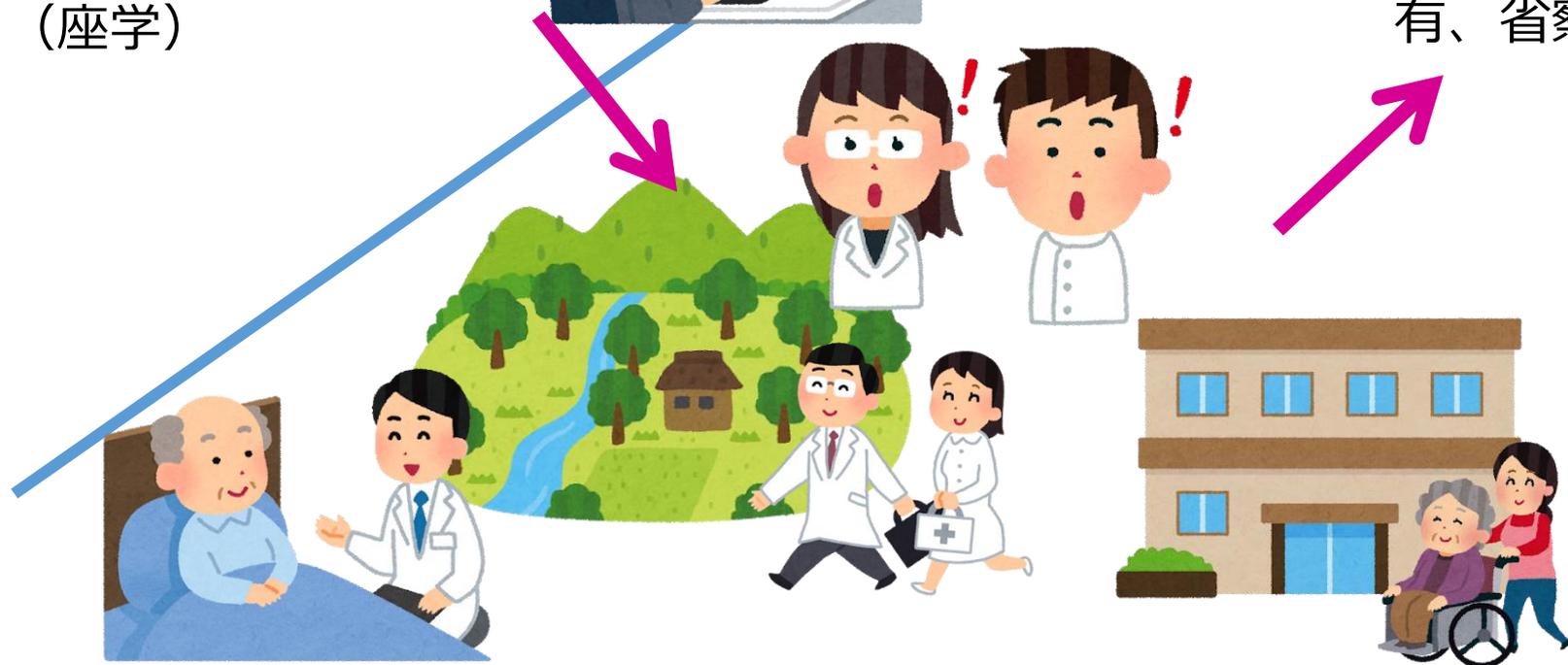


実習の事前講義  
(座学)



現地実習

全体報告会  
(全国的情報共有、省察)



# 地域医療の系に携わる主要構成組織

納得↑

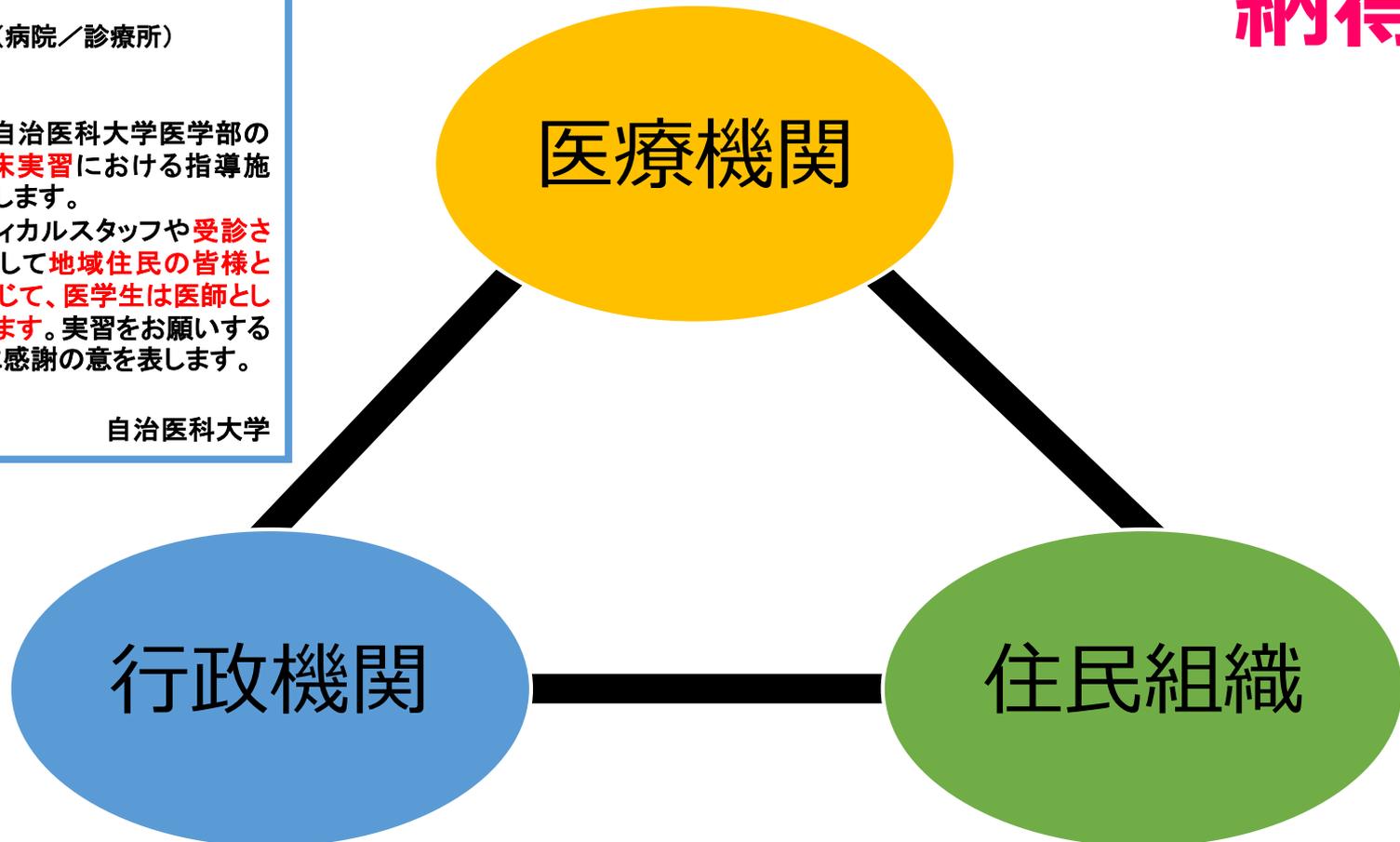
## 実習施設承認証

〇〇〇 医院(病院/診療所)  
〇〇〇〇先生

貴施設を、自治医科大学医学部の  
地域医療臨床実習における指導施設として承認します。

貴施設メディカルスタッフや受診される方々、そして地域住民の皆様との関わりを通じて、医学生は医師として育っていきます。実習をお願いするとともにここに感謝の意を表します。

自治医科大学



合意形成や共感醸成